

2025年度学部在学学生 新規で貸与・給付の奨学金を希望する方へ

日本学生支援機構奨学金 貸与・給付(多子世帯含む) の2次採用の募集について

下記のとおり二次採用の出願書類配付期間を設けますので、出願希望者は取りに来てください。

記

1. 出願書類配付期間・配付場所

配付期間 (貸与・給付)	配付時間	配付場所
2025年 9月17日(水)～ 10月3日(金)まで ※日祝除く 配付期間延長！ 10月9日(木)まで	9:00～ 17:00 (11:30～ 12:30除く)	大宮 キャンパス 厚生課（1号館2階）
		梅田 キャンパス ロボティクス&デザイン 工学部事務室（7階）
		枚方 キャンパス 情報科学部事務室 （1号館1階）

※やむを得ない事情(病気、就職活動等)で期間中に取りに来られない場合は、必ず事前に担当窓口へ申し出てください。

2. 注意事項

すでに日本学生機構の奨学生として採用されている方

今回の出願は新規申込です。採用済みの奨学金は再度出願する必要はありません。
追加で新たな奨学金を希望する場合は出願が必要です。

2025年度前期に出願し不採用になった方

前期に出願し、不採用だった方も再度出願が可能です。前期は2023年の収入情報に基づく2024年度の住民税情報により選考されますが、二次採用では2024年の収入情報に基づく2025年度の住民税情報により選考が行われます。

新入生の方

2025年度入学の新入生は、出願時に出身高校の卒業までの成績が反映された調査書、または成績証明書の提出が必要です。発行までに時間がかかりますので、今回出願予定の方は、あらかじめ出身高校に発行依頼してください。ただし、貸与奨学金の第二種のみを希望する人は必要ありません。（詳細は出願書類の中で明記します。）

受給・貸与始期について

書類に不備がなく、最速で採用された場合の初回振込は12月です。

3. 申込資格の確認

貸与奨学金

- 2025年4月以降、留年または4年生で卒業研究未着手の学生は奨学金の出願をすることができません。留年が解消された年度に改めて申してください。
- 修得した単位数が平均水準を大幅に下回る場合は、出願できないことがあります。

給付奨学金（多子世帯の申請を含む）

【新入生】：次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当すること

- （ア）高等学校における評定平均値が3.5以上であること
- （イ）高等学校卒業程度認定試験の合格者であること
- （ウ）「学修計画書」により学修の意欲や目的、将来設計等が確認できること

【2年生以上】：次の（ア）（イ）のいずれかに該当すること

- （ア）T-GPAが在学する学部において上位1/2の範囲に属すること
※具体的数値は出願書類の中で明記します
- （イ）2025年3月末までに修得した単位数が標準単位数以上であり、「学修計画書」により学修の意欲や目的、将来設計等が確認できること

◇2018年度以降入学者の標準修得単位数

学部／学年	1年終了時 (2025年3月末時点)	2年終了時 (2025年3月末時点)	3年終了時 (2025年3月末時点)
工学部	31単位	66単位	110単位
ロボティクス& デザイン工学部	31単位	62単位	100単位※1 104単位※2
情報科学部	31単位	62単位	104単位
知的財産学部	28単位	56単位	86単位

※1. 2018～2021年度入学生

※2. 2022年度以降入学生

▲ 給付奨学金(多子世帯の申請含む)は、留年したことのある学生、4年生で卒業研究未着手の学生は出願できません。

2025年度から多子世帯の授業料等無償化が開始されました

2025年度から「多子世帯の大学等の授業料無償化」が開始されました。
日本学生支援機構から「多子世帯」の認定を受けた学部学生は、所得制限※なく入学金(新入生のみ)および授業料が減免されます。

授業料等減免を受けるためには、大学が指定する期間内に日本学生支援機構の給付奨学金に出願することが必要です。

- ※ 所得制限はありませんが、資産要件（申請者と生計維持者への資産の合計額が3億円未満）および学力要件の審査があります。
- ※ 私立大学の場合は年間の授業料減免額が最大70万円となるため、授業料全額が無償化される制度ではありません。
- ※ 給付奨学金を受けていない学生で、多子世帯に該当する場合は必ず出願してください。
なお、すでに給付奨学金に採用されている学生は、出願不要です。



貸与・給付奨学金
JASSOのHP



制度概要
【文部科学省のHP】